



# 子供たちの安全のため 老木を伐採します。

歴史ある三本木小学校には、校地内にたくさんの木が植えられ、長い年月を掛けて大きく育ったヒバやサクラの大木があります。地域の皆様に愛され、多くの子供たちを見守ってきた老木ですが、一部が枯れて大きな枝が落ちたり、幹の中が空洞化し、倒木の可能性がある危険な状態になっています。これらは、本校のシンボルにもなっている樹木ですから、何とか残していけないものか、樹木医や造園業者に相談したり、教育委員会とも協議を重ねたりしてきたところです。残念ながら、子供たちの安全を第一に考え、伐採することとなりました。対象の樹木は4本で、校門付近、二宮金次郎像脇のヒバの大木1本と校庭のサクラの老木3本です。天候を見ながら年明け1月の中旬から中旬の子供たちのいない休日に伐採されます。思い出多い樹木ですので、別れを惜しみたい方は、その前に見にいらしてください。

大崎市立三本木小学校



校門坂近くのヒバの大木。幹が空洞化し、危険な状態です。